

## はじめに



「筑西市」は、平成17年3月28日、下館市、関城町、明野町及び協和町が合併し、誕生いたしました。市の名称は、筑波山の西に位置し、筑波山が日本で一番美しく見えるまちであることから、公募結果を踏まえて4市町の協議で決定したものです。

本市は、鬼怒川・小貝川などの河川や、緑豊かな平地林などの自然環境に恵まれ、筑波山を望む広大な田園のもと、米・こだますいか・梨をはじめとする豊かな農産物が産出されるとともに、古くから商業・工業の集積も見られ、歴史的資源や伝統文化が継承され、今日まで県西地域の中心的な役割を担ってまいりました。

近年、本格的な地方の時代を迎えるなか、人口減少・少子高齢化の加速的な進行や国の進める三位一体改革等により、地方公共団体の運営は一層難しさを増してきている反面、その果たす役割もますます重要になってきています。

本市では、こうした社会情勢の変化を踏まえ、合併時に策定した筑西市建設計画を基本に、このたび、さらなる市の発展と住民福祉の向上を目指した今後10年間のまちづくりの基本指針となる『筑西市総合計画』を策定いたしました。

本計画は、「人と自然 安心して暮らせる 共生文化都市」を将来都市像に掲げ、この計画に基づき、誇りと愛着を持って住み続けることができる筑西市を創ってまいりたいと存じます。

そのためには、効率的・効果的な行財政運営に努めながら、市民の皆様との連携と協働により市政を進めていくことがたいへん重要であります。市民と行政が対等のパートナーとして、お互いの課題や責任を共有しながら協働のまちづくりを実践してまいりたいと考えておりますので、今後とも、市民皆様方の一層のご理解とご協力を心からお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご提言・ご意見をお寄せくださいました市民の皆様をはじめ、市議会議員の皆様、総合振興審議会委員の皆様並びに多くの関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

平成19年3月

筑西市長

富山 省三